

令和2年度 事業計画書

自：令和2年4月1日 至：令和3年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興・継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成・自主公演・一般国民への普及啓発活動を行う。

1 普及啓発吟詠発表会（普及啓発吟詠活動）

(1) 普及吟詠発表会

「普及吟詠発表会」を、地区または団体において開催する場合、これを支援する。

2 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

(1) 少年少女吟詠大会（青少年吟詠大会）

「少年少女吟詠大会」を中学生以下の者を対象に、各地域で開催する。

① 令和2年7月25日（土） 長野地区 飯田市鼎文化センター

② 令和2年7月26日（日） 神静地区 横浜市神奈川公会堂

※上記以外の日程・会場は未定。

(2) 尚歯会全国吟道大会・尚歯会吟詠大会（高齢者吟詠大会）

70歳以上を対象に大会を開催する。

① 「尚歯会全国吟道大会」は、本年度は休止する。

② 「尚歯会吟詠大会」を都道府県単位で開催する。

i 令和2年7月12日（日） 北海道 道新ホール

※上記以外の日程・会場は未定。

3 詩吟の指導者・継承者育成事業（師範位を認定する審査・研修事業）

(1) 準師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

認可団体の資格審査申請に基づき認定する。

(2) 師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「師範審査会及び研修講座」を全国から受審者を募集して、北海道・東京2回・大阪・沖縄の会場で開催し、資格審査合格者を認定する。

① 札幌会場：令和2年 8月21日（金）札幌市教育文化会館

② 東京会場：令和2年10月10日（土）吟道会館

③ 大阪会場：令和2年11月19日（木）ホテルアウィーナ大阪

④ 東京会場：令和3年 2月10日（水）吟道会館

⑤ 沖縄会場：令和3年 2月27日（土）アイム・ユニバースてだこホール

(3) 正師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「正師範審査会及び研修講座」を令和2年10月3日（土）、全国から受審者を募集して、東京（吟道会館）で開催し、資格審査合格者を認定する。

(4) 上席師範の資格取得を希望する者に対する審査・研修事業

「上席師範審査会及び研修講座」を令和2年6月30日（火）、全国から受審者を募集して、長野県諏訪市の木村岳風記念館・吟道研修センターで開催し、資格審査合格者を認定する。

4 吟詠教本の作成頒布

吟詠教本・教材シリーズの作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『普及版吟詠教本 漢詩篇（一）～（三）』、『吟詠教本 和歌篇（上）、（下）』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇（上）、（下）』、『吟詠教材シリーズⅠ 俳諧歌撰』、『吟詠教材シリーズⅡ 御製歌・今様・俳諧紀行文・近現代詩・慶弔詩歌篇』、『新装新版愛吟集』などを作成し、希望者に頒布する。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に事業計画及び収支予算書、事業報告及び決算報告書、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠に関すること、団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び国立国会図書館並びに希望者に配付する。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「夏季吟道大学講座」は、本年度は休止する。

(2) 地区吟道講座

①「地区吟道講座」を全国10地区12会場（北海道・東北・関東・神静・長野・中部・北陸・近畿・中国四国・九州）で開催する。

総本部講師と各地区の講師計4名で実施する。

- | | | | | |
|------|------|-------------|--------|--------------------------|
| i | 令和2年 | 9月27日（日） | 北陸地区 | アイザック小杉文化ホールラポール（富山） |
| ii | 令和2年 | 10月11日（日） | 北海道地区 | とかちプラザレインボーホール（北海道） |
| iii | 令和2年 | 11月8日（日） | 北海道地区 | 道新ホール（北海道） |
| iv | 令和2年 | 11月15日（日） | 中部地区 | 津島市文化会館（愛知） |
| v | 令和2年 | 11月21日（土） | 東北地区 | 福島県とうほうみんなの文化センター（福島） |
| vi | 令和2年 | 11月22日（日） | 長野地区 | 諏訪市文化センター（長野） |
| vii | 令和2年 | 11月23日（月・祝） | 中国四国地区 | 新居浜市文化センター（愛媛） |
| viii | 令和2年 | 12月3日（木） | 近畿地区 | 高槻現代劇場文化ホール（大阪） |
| ix | 令和3年 | 2月11日（木・祝） | 関東地区 | 日本教育会館（東京） |
| x | 令和3年 | 2月14日（日） | 九州地区 | アルカスさせぼ中ホール（長崎） |
| xi | 令和3年 | 2月26日（金） | 神静地区 | 三島市民文化会館（静岡） |
| xii | 令和3年 | 2月28日（日） | 九州地区 | アィム・ユニバースてだこホール市民交流室（沖縄） |

②「地区吟道講座の講師研修会」を令和2年5月20日（水）～5月21日（木）、吟道会館で開催する。

(3) 特別講座

①「俳諧歌ほか吟詠講座」を令和2年12月5日（土）及び令和3年1月16日（土）、吟道会館で開催する。

②「日本詩吟学院公開講座」を吟道会館で原則として毎月開催する。

(4) 木村岳風記念館吟詠講座

「俳諧歌ほか吟詠講座」を令和3年3月24日（水）～3月25日（木）、木村岳風記念館・吟道研修センターで開催する。

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

「令和2年度 中国移動教室」は、本年度は休止する。

(2) 国内移動教室

「令和2年度 国内移動教室」を令和2年10月7日（水）～10月8日（木）1泊2日で新潟を訪ね、『奥の細道』を題材として実施する。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を10地区10会場で開催し、「全国吟道大会」及び「全国優秀吟者吟道大会」の地区予選を行う。

- ① 令和2年5月17日(日) 北海道地区 道新ホール(北海道)
- ② 令和2年5月17日(日) 関東地区 メルパルクホール東京(東京)
- ③ 令和2年5月17日(日) 中部地区 津島市文化会館(愛知)
- ④ 令和2年5月24日(日) 中国四国地区 呉市民ホール(広島)
- ⑤ 令和2年5月24日(日) 九州地区 須恵町文化会館アザレアホール須恵(福岡)
- ⑥ 令和2年5月31日(日) 神静地区 小田原市民会館(神奈川)
- ⑦ 令和2年6月3日(水) 東北地区 山形テルサ『テレサホール』(山形)
- ⑧ 令和2年6月7日(日) 長野地区 辰野町民会館(長野)
- ⑨ 令和2年6月14日(日) 北陸地区 高周波文化ホール(富山)
- ⑩ 令和2年6月17日(水) 近畿地区 高槻現代劇場文化ホール(大阪)

(2) 地区師範吟詠大会

「地区師範吟詠大会」を各地区で開催する。

9 全国吟道大会、全国優秀吟者吟道大会、全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

① 全国吟道大会

「第131回全国吟道大会」を令和2年10月18日(日)、宮城県仙台市の仙台サンプラザホールにおいて開催し、地元の特徴あるテーマを題材とした構成吟及び合吟の競吟並びに独吟・合吟などを行う。

なお、入場者は、全国から2,000名を募集する。

② 全国俳諧歌吟詠大会

「第8回全国俳諧歌吟詠大会」を令和2年7月2日(木)、長野県の諏訪市文化センターにおいて開催する。

なお、入場者は、全国から800名を募集する。

③ 古典の日 吟詠鑑賞会

「古典の日 吟詠鑑賞会」を令和2年11月1日(日)に、吟道会館において開催し、名吟を鑑賞する。

なお、入場者は、全国から募集する。

④ 全国青年吟道大会

「全国青年吟道大会」は、本年度は休止する。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第27回全国優秀吟者吟道大会」を令和2年9月22日(火・祝)、東京のメルパルクホール東京において開催し、全国10地区から選出された吟者による漢詩及び和歌独吟の部と律詩連吟の部の競吟を行う。

なお、入場者は、全国から1,500名を募集する。

(3) 全国認可団体代表吟道大会(全国特別維持会員吟道大会)

「第3回全国特別維持会員吟道大会」を令和3年3月14日(日)、東京の日経ホールにおいて開催し、独吟及び連吟の競吟並びに独吟を行う。

なお、入場者は、全国から600名を募集する。

10 木村岳風記念館・木村岳風墓所の一般公開

この法人の創設者(昭和11年日本詩吟学院創立)である祖宗範木村岳風の生家を保存、管理し、遺品を中心とした歴史資料を展示する木村岳風記念館及び木村岳風墓所を一般に公開する。

11 その他公益目的事業達成の為の事業

(1) 資格審査及び段伝位等の審査を行う。

(2) 定時社員総会

「第11回定時社員総会」を令和2年6月13日(土)、吟道会館において開催して、2019年度(平成31年度)の決算報告、役員改選等を議案とする。

(3) 特別維持会員会議

「第8回特別維持会員会議（吟の総会）」を令和3年3月13日（土）、吟道会館において開催して、吟道の基本理念及び「吟符の研究」並びに事業計画・収支予算等を説明する。

(4) 認可団体等連絡会議

「認可団体等連絡会議」は、本年度は休止する。

(5) 研修会

①「師範研修会」は、本年度は休止する。

②「参事・幹事研修会」を常任参事・参事・幹事を対象として、吟道会館で開催する。

③「吟道修学院」：第4期院生を対象に優れた指導者の育成を図るため、吟道会館で開催する。

(6) 認可団体新設認可

認可団体設立の申請に基づき、詩歌吟詠の愛好者団体を認可団体として認可する。

(7) 認承団体新設認承

認承団体設立の申請に基づき、詩歌吟詠の愛好者団体を認承団体として認承する。

(8) ホームページの活用

① 広報活動と情報公開の一環として、学院の紹介及び活動状況の報告並びに大会などの募集案内等を掲載する。

② 吟詠を学びたい不特定多数の者に対し、当学院の認可団体及び認承団体の教室を掲載する。

③「機関誌『吟道』の巻頭詩」など吟詠を試聴できるコーナーを設ける。

(9) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換及び文化団体との交流を図る。

(10) 教本等に関する質問への回答

教本の内容などに関する疑義等は、原則、団体の指導者を中心に研究するものだが、不明な場合は団体代表者より質問を書面で受け付け回答する。

(11) 公益目的事業を達成するため、定時社員総会及び業務執行理事会・理事会並びに各委員会・各局・各部などの会議を開催する。

(12) 吟道会館の運営

詩歌吟詠を受け継ぐ指導者の育成と吟道普及の拠点とし、また、吟詠関連の各種資料及び関係書類の整理・保管・管理を行うため、「吟道会館」を運営する。

「吟道会館」の維持・管理のため、寄付を団体及び会員並びに一般より受け付ける。

(13) 木村岳風記念館・祖宗範木村岳風生家の資料の整理・保管・管理及び木村岳風記念館・吟道研修センター並びに祖宗範木村岳風墓所の維持・管理を行う。

(14) その他

その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行う。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業 公益目的事業を支えるための補助事業

収益事業1 吟詠カセットテープ・CD・DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 吟詠カセットテープ・CDなど、各種教材等を作成して、希望者に頒布する。
- 2 詩吟の副教材として下記の頒布品を希望者に頒布する。
 - (1) 書 籍 『木村岳風』(通称「岳風伝」)、『詩歌作者事典』など。
 - (2) CD・DVD等 「吟聖木村岳風DVD」、「松井岳洋愛吟韻読抄」、「全国認可団体代表吟道大会ライブDVD」、「構成吟CD全5巻」、「現代名吟鑑賞会ライブDVD」、「全国青年吟道大会ライブDVD」など。
 - (3) そ の 他 和歌・俳句カード
- 3 そ の 他
学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、ネクタイ、扇子など。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝位等の認定及び認定証(許證)を交付する事業

- 1 認定証(許證)発行
認可団体の資格審査申請に基づいて行われた、昇級(少年少女)・昇段伝位及び師範位の資格審査の合格者に認定証(許證)を交付する。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖 木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀（岳風忌）事業

1 岳風忌

令和2年7月1日（水）、長野県諏訪市地藏寺において役員及び参列希望者により祖宗範木村岳風ご夫妻の法要を行い、併せて功労物故者会員の合祀を行う。

その他の事業2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者に、冠稱（宗佑・宗匠・宗帥・宗宰）を贈る。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者（功労者の部・ボランティアの部・寿百歳の部・寿九十歳の部）の表彰を行う。

(3) 高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員を表彰する。

(4) その他

- ① 詩歌吟詠の普及向上等に多大に寄与した者に対し、顕彰・慶弔規程の定めるところにより顕彰する。
- ② 会員増強（純増）10%以上並びに同30名以上を達成した団体を表彰する。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行う。